

# 東洋陶磁学会 第50回大会のお知らせ

本年度は学会創立50周年にあたります。会報99号にて予告しましたように、大会も記念事業の一環として、大会1～大会3の、3回に分けて開催いたします。奮ってご参加ください。

今回は、このうち大会1、および大会2を中心にお知らせします。大会3の詳細は改めてお知らせいたします。

会場が遠隔地であったり、日程のご都合がつかなくなったりなど、対面参加のむづかしい会員のみなさまのために、録画配信（大会1、大会2）や同時配信（大会3）の併用を予定しておりますので、是非ご利用ください。録画や同時配信のご利用には、メール登録会員になっていただく必要があります。スマートフォンでの視聴も可能ですので、未登録の会員の方には是非登録をお勧めいたします。

大会参加費は例年の通り事前徴収させていただきますが、大会1～大会3の全日程（対面参加・録画視聴・オンライン参加のすべて）に、1回の参加費納入で参加できる形にしております。詳細は最終頁をご覧ください。

東洋陶磁学会

記

## 大会1 東洋陶磁学会50周年記念シンポジウム「陶磁器の展示 これまでとこれから」

\*日時 2023年11月11日（土）・12日（日）

\*会場 東京国立博物館平成館大講堂（台東区上野公園13—9） **※大会当日は正門ではなく、西門からお入りください。**

\*趣旨 東洋陶磁学会創立50周年を記念して開催するシンポジウム。陶磁器研究が社会に還元されるひとつのあり方として展覧会・展示活動を挙げることができる。当学会には、日本全国各地、また海外を含め美術館・博物館の学芸員が多く所属しており、さまざまな展覧会や展示活動にかかわってきた。本シンポジウムでは、そうした現場経験にもとづく複数の事例報告をもとに、最新の展示事例報告をはじめ、過去の展示の振り返り、また今後の展示のあり方についての検討など大きく3つのセクションを軸として構成する。会員各々が今後の研究活動の指針を作る土台となることを目指す。

\*発表演題・発表者

11月11日（土）13時40分より 第1講「陶磁器展示の最前線 国内・海外の事例から」

〈研究発表〉

海外事例報告「『朝鮮の白磁—君子志向』展、新たな鑑賞者層のための展示演出（〈조선의 백자, 군자지향 君子志向〉전, 새로운 향유층을 위한 전시 연출）」録画発表

李準光（韓国、LEEUM美術館）

海外事例報告「上海博物館東館陶磁館に関する基本情報の紹介とその展示理念（上海博物館東館陶瓷館基本情况介绍及其展陈理念）」録画発表

彭涛（中国、上海博物館）

国内事例報告「佐賀県立九州陶磁文化館 常設展「有田焼の歴史」展示リニューアルについて（2022）」

藤原友子（佐賀県立九州陶磁文化館）

11月12日（日）10時00分より 第2講「陶磁器展示 これまでの展覧会」

〈研究発表〉

事例報告「バックヤードと表舞台を入れ子にする：「のこす、つたえる—お宝考今昔」展

（茨城県陶芸美術館 2008）」 花井久穂（東京国立近代美術館）

事例報告「1964 証言—現代国際陶芸展の衝撃（岐阜県現代陶芸美術館 2017）」

花井素子（岐阜県現代陶芸美術館）

事例報告「古陶磁鑑賞の理想的環境を求めて—大阪市立東洋陶磁美術館の展示の理念と特色」

小林 仁（大阪市立東洋陶磁美術館）

13時30分より 第3講「これからの展示を考える 陶片の活用」

〈研究発表〉

事例報告「昭和戦前期の中国における日本人陶磁学者の古窯址の探索と陶片の採集について」

木田拓也（武蔵野美術大学）

事例報告「陶片から学ぶシリーズ（根津美術館 2020～22）」

下村奈穂子（根津美術館）

事例報告「ミュージアムにおける陶片資料の活用—東京国立博物館の陶片紹介—」

横山 梓（東京国立博物館）

## 〈パネルディスカッション〉

※本大会では見学はありませんが、11月11日(土)の東博夜間開館(19時まで開館)を参観される方には、大会受付にて入館手続きを行う予定です。入館料は¥1,000で総合文化展のみ可能です。特別展(「横尾忠則 寒山百得」展、特別展「京都・南山城の仏像」、特別展「やまと絵—受け継がれる王朝の美—」)を観覧される際は、別途各自でご手配ください。このうち、やまと絵展のみ、土日は事前予約制(日時指定)となりますのでご注意ください(詳しくはHPでご確認ください)。

※本大会では対面開催と併せて、録画配信も行います。

※大会会場(平成館大講堂)への出入りは、東京国立博物館西門からのみとなります。出入りに必要な参加証を西門にてお渡ししますので、大会期間中必ず身に付けてください。

※11月12日(日)の昼食は各自でご準備ください。参加者には近隣のお店を紹介いたします。また、会場内での飲食は、ペットボトル飲料等蓋付きのもののみ可能です。



## 大会2 「明治陶磁研究の現在地」

\*日時 2023年12月2日(土)・3日(日)

\*会場 瀬戸市文化センター 文化交流館 31会議室(瀬戸市西茨町113-3)

\*趣旨 東洋陶磁学会創立50周年にあたり、過去50年間の陶磁史研究上の重要な出来事の一つである、日本の近代陶磁史研究を取り上げる。とりわけ明治期の陶磁に関する研究は、コレクターによる里帰り作品の収集や展覧会での紹介を通じて、1990~2020年代にかけて大きな成果を上げた分野である。第50回大会は瀬戸を中心に研究を続けてこられた近代国際陶磁研究会・瀬戸市美術館と共催し、研究史の紹介によりこれまでの明治陶磁研究をふりかえりつつ、産地における研究や海外における研究動向など、各研究者の様々な視点から今後の研究の行方を占う。

\*発表演題・発表者

12月2日(土) 14時より17時まで

〈研究発表〉

「明治陶磁研究史」

岡本隆志(皇居三の丸尚蔵館)

「近代日本における輸出陶磁器業の展開—森村組・日本陶器を中心に—」今給黎佳菜(名古屋学院大学)

「モース・コレクションの形成と明治の京焼陶工」録画発表

福永愛(ボストン美術館)

〈パネルディスカッション〉

「明治の輸出陶磁」(仮)

12月3日（日）10時より15時20分まで

〈研究発表〉

「明治期薩摩焼における鹿児島県産地の海外輸出と国内向け素地提供について—沈壽官窯（玉光山陶製造場）を事例に—」  
深港恭子（鹿児島県歴史・美術センター黎明館）

「初代諏訪蘇山について」

佐藤一信（愛知県陶磁美術館）

「近年の海外における明治陶磁研究事情」

前崎信也（京都女子大学）

「瀬戸の近代陶磁」

服部文孝（瀬戸市美術館）

〈パネルディスカッション〉

「明治陶磁の収集と作家研究」（仮）

〈見学〉散会后、閉館（16時30分までに入館、17時閉館）まで瀬戸市美術館の明治陶磁の展示見学が可能です。また、大会第1日目の開会前も同館の展示見学が可能です。

※本大会では対面開催と併せて、録画配信も行います。

**\*懇親会** 大会第1日目の研究発表終了後、18時より20時までの予定で、付近のお店で懇親会を行います。会費は5,500円を予定しております（当日徴収）。懇親会に参加を希望される方は、**10月31日まで**に郵便払込票またはPeatixにて参加を申し込んでください。（「大会参加申し込み方法について」参照）

懇親会会場：瀬戸蔵カフェ花ごよみ

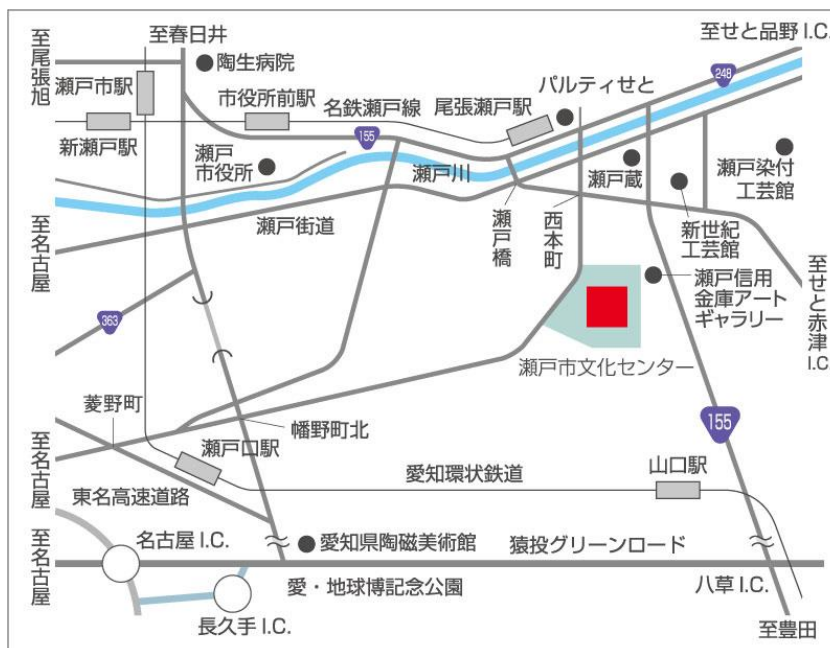
愛知県瀬戸市蔵所町1-1 瀬戸蔵1階 TEL. 0561-59-8680

**\*宿泊案内** 大会会場付近のホテルです。

ホテルルートイン尾張瀬戸駅前 〒489-0812 愛知県瀬戸市西蔵所町1 TEL. 050-5576-8017

瀬戸パークホテル 〒489-0076 愛知県瀬戸市深川町11 TEL. 0561-85-3333

※12月3日（日）の昼食は、瀬戸市文化センター内にあるレストランのほか、参加者には近隣のお店を紹介いたします。また、会場内でも飲食は可能です（持ち込んだゴミはお持ち帰りください）。



### 大会3 「陶磁器研究のここが面白い！」（仮）

\*日時 2024年8月24日（土）

\*会場 2か所（東京会場・九州会場）同時開催

\*趣旨 東洋陶磁学会の会員は、大学研究者、博物館美術館学芸員、保存修復関連、職人、陶芸作家、美術商、文化財担当者、お茶をたしなむ方などなど多様な興味や職種の方々が構成されている。

こうした東洋陶磁学会活動を支えている会員がこれまで行ってきたこと、携わっていること、将来に向けて考えていることなどを、特に学生、若手研究者などと、ポスターセッション、ワークショップ、収蔵品紹介などを通して交流を行い、陶磁器研究の面白さを周知・発信する場としたい。2か所同時開催のサテライト方式で行い、チャットなどを利用して広く意見交換を行いたい。

※大会3の詳細は、改めて案内いたします。

**[注 意]** 発表の演題および順序は変更される場合があります。  
「発表要旨」は大会前にホームページに掲載し、参加者には会場で紙媒体のものを配布します。  
宿泊は各自で手配してください。

## 大会参加申し込み方法について

**\*申し込み方法** 対面参加者・録画配信視聴者すべて(特別会員を除く)

参加を希望される方は、大会参加費 1,000 円を、11月25日(土)18時迄に Peatix【下記参照】、または封書に同封の郵便払込票で納入してください。

※この 1,000円には、すべての大会(大会1~3)の対面参加費・配信視聴費が含まれます。

※大会2(瀬戸市文化センター)の懇親会に参加ご予約の方は、会場手配の都合上、10月31日(火)迄にお申し込みください。郵便払込票にその旨ご記入いただくか、Peatixのチケット購入ページに表示されるフォームに参加予定を問う設問を用意していますので、回答してください。

**Peatix : 大会参加申し込みページ**

<https://toyotoji2023.peatix.com>

- 販売期限は、11月25日(土)18時です。
- 大会1(東京国立博物館)終了後にお申込みの方は、録画配信視聴のみ可能ですので、予めご了承ください。
- 録画視聴は、各大会終了約1週間後に購入者全員にメールにて視聴用URLを配信いたします。視聴期限は1ヶ月とさせていただきます。予めご了承ください。



### 申し込み・決済の手順

1. 上記申し込みページ(<https://toyotoji2023.peatix.com>)を開く。
2. ページに移動後、画面右側に表示される「大会参加費(Participation fee) 1,000 円」を1枚申し込む。
3. 支払い方法を選択する (Apple Pay、クレジットカード、コンビニ/ATM、PayPal から選択できます。)
4. Peatix にログインする。Peatix をはじめてご利用される方は、「新規登録」をお願いします。
5. 事前アンケート、請求先情報、支払い情報の各ページを入力する。
6. 決済完了(完了次第、Peatix から自動返信メールがあります。)

※ご不明な点がございましたら、メールにて学会事務局 ([toyotoji@nifty.com](mailto:toyotoji@nifty.com)) までご連絡ください。

東洋陶磁学会  
102-0074  
東京都千代田区九段南1-5-6、  
りそな九段ビル5階K Sフロア  
電話 080 - 6601 - 1263  
[https:// toyotoji.com/](https://toyotoji.com/)